３学年第７時　「ロールプレイングで面接練習」支援プラン　進路選択

【エクササイズ（ＥＸ）＆準備物】

　　ウォーミングアップ「モデリング」　　　　 ：子どもの服装

　　メインＥＸ『ロールプレイングで面接練習』 ：面接練習ワークシート

【ねらい】

　進路選択の学習において、面接練習が重要であることは言うまでもない。面接を疑似体験することにより、子どもたちは自信をもつ。一般的な面接練習は、面接によく出る質問に対する答えを準備し、教員が子どもの姿勢・態度・回答内容等における不十分点を指摘し修正するというものであろう。今回は、それ以前の準備段階として、ワークショップとして面接を経験することにより、子どもたちが面接に向かう力を内から育てていこうというものである。

【概要】

　教員による「好ましくない面接例」のモデリングから始まる。面接官役、子ども役ともに教員が担う。子どもたちは、教員の「感じの悪い」ところを指摘していくが、これが結構盛り上がる。他者のよくない部分というものにはよく気づくものである。子どもたちからの指摘を受け、子ども役の教員は面接に再チャレンジする。その際、子どもたちからの指摘された点に加えて、それぞれの学校で指導している部分を盛り込んだ模範例を示す。子どもたちは、自分たちがやってみる段階で、自らが指摘して完成した模範例を実践しようという気持ちになる。

【流れ】

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
|  | 活動の流れ | 留意点・教具等 |
| ウォーミングアップ  エクササイズ | 『ロールプレイングで面接練習』  「モデリング」  教員二人の教員が面接官役、子ども役で行う。  面接官役の質問  　　1)「学校名、出席番号、名前を教えて下さい。」  　　2)「ここ（学校、会社等）を受ける理由を教えて下さい。」　　　　　　　　　　　　　　以上、２問のみ。  子ども役の感じの悪いところ  1)廊下で大声でしゃべっている。2)戸を開けたとき「ちわーす」と不作法な挨拶をする。3)戸を後ろ手で閉める。4)靴を踏んでいる。5)椅子の背もたれにもたれかかって座っている。6)質問をちゃんと聞いていない。7)しゃべり方がため口である。8)へらへらして応対している。ｅｔｃ  ①教員の「感じが悪かった点」をワークシートに書き出し、班で交流する。  ②全体で「感じが悪かった点」を確認する。  ③指摘された点を踏まえて、子ども役の教員が再度面接をやりなおす。 | ○子ども役の教員－子どもの制服を着て廊下で待機する。  ○面接官役の教員－面接官用の机椅子、子ども用の椅子を準備する。  ○感じの悪い項目を増やしてもよい。  ○観ている人は観察者であることを強調する。  ○「感じが悪かった点」をすべて指摘しなくてもいい。ここで教え込みをしてはいけない。  ○子どもの感覚を大切に。  ○学校独自の模範例も含めて演じる。 |
|  | 活動の流れ | 留意点・教具等 |
| エクササイズ | ④子どもたちからフィードバックをもらう。  　　 （不十分点を更に指摘されるかもしれない。）  ⑤ワークシートに回答内容を書き込み、班で面接官役を決めて全員が練習する。  ⑥全体で班の代表が演じる。 | ○思わぬフィードバックが返ってくるかもしれない。そこを大切にする。  ○回答内容が主ではないので、志望動機は簡潔に。  人数が多い場合は志望動機は省略してもよい。  ○細かい点の指示は正式の面接練習で行う。 |
| ふりかえり・シェアリング | ①班で気づいたことを交流する。  ②全体でシェアリングする。  ③ふりかえり用紙に記入する。  ＊わたしメッセージ＝ｐ８４参照 | フィードバックの視点  ・子どもたちが考えた部分を大切にし、積極的にプラス評価をする。教員のモデルに子どもたちが感じた「感じの悪さ」が人物評価にまで至ってしまう社会の厳しさを「わたしメッセージ」で伝える。 |

【ポイント】

　教員としては、面接練習というとどうしても「指導」をしたくなるところである。この時間は、面接指導の前段階としてとらえ、子どもの側からの自覚や気づきを喚起することで、子どもの内面からの規範意識をビルドアップしていこうというものである。教員の側から教え込もうとするのではなく、教員が考える模範例というものに子どもたちが近づき、さらに新たな気づきも期待できる時間としてとらえたい。

|  |
| --- |
| 子どもの気づき |
| ・川口先生の一回目の態度は自分と似てるところがあったので、少し反省した。  ・実際に面接をするときは、すごく緊張するだろうなと思った。  ・ちゃんと面接ではしないといけないので、言葉遣いとか今から改めよう。  ・あと何ヶ月かしたら自分も同じことをするんだと思ったら緊張したけど、勉強にもなった。  ・まだまだ時間があると思ってたけど、今日、面接のこと勉強していよいよだなと思った。 |

|  |
| --- |
| 教員からのコメント |
| ・面接練習といえば、これまでは子どもたちが原稿を考えて、管理職の先生や、生徒指導、進路指導の先生が面接官になり、緊張感の中で行ってきました。そして、「ちゃんとできない子」は再面接というような感じです。今日のような面接練習があるなんて少々驚きでした。進路選択の学習において、これほど盛り上がるとは・・。普段、ちゃんとできていないような子でも、「あの態度はおかしい。」とか、「あの答え方はないよね。」とか、こちらからそのまま返してあげたいようなことを言うのです。へぇー！他人の行動を見れば、結構気づきがおこるものですね。 |

＊道徳の内容項目との関連：　1-(5) 向上心　　2-(1) 礼儀

（担当：深美　隆司）